

VB.NET

コンポーネント活用講座
～ 教養課程 ～



スモールパーツ プログラミング

第17回

小森 大輔 KOMORI, Daisuke

StatusBarコントロール ～ProgressBarコントロール、 Timerコントロール

Small Parts Programming

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥SMALLディレクトリに収録しています。

¥MESSAGE
メッセージの表示

¥ADDPANEL
StatusBarコントロールへのパネルの追加

¥PANELPROPERTY
StatusBarPanelのプロパティ利用例

¥PROGRESS
進行状況の表示

¥OWNERDRAW
オーナー描画のサンプル

本連載は、Visual Basic .NET (以下VB.NET) の標準コントロールにスポットを当て、とことん使い込んで、その機能や役割を調べてゆきます。

今回はコントロールとしてはあまり目立ちませんが、アプリケーションに関するさまざまな情報を表示するために使われる、「StatusBarコントロール」について見てゆくことにしましょう。

また、それに関連して (いるかどうかは別として……)、「ProgressBarコントロール」と「Timerコントロール」も取り上げてみようと思います。

StatusBar コントロール

StatusBarコントロールは、“ステータス=状況”という言葉そのままに「アプリケーションの現在の状況を表示する」ために使用されます。

普段はあまり気が付きませんが、注意して見てみると、いろいろなWindowsアプリケーションにさまざまなStatusBarが実装されています。そして、そのStatusBarがいろいろな情報を表示してくれていることに気が付くでしょう (図1)。

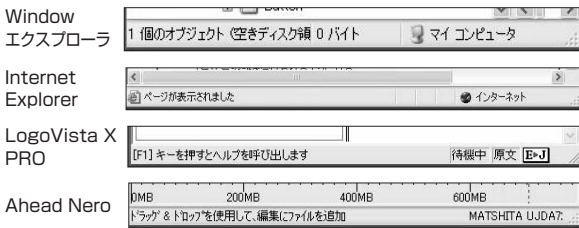
メッセージの 表示

StatusBarコントロールにメッセージを表示するのは、Textプロパティへ文字列を設定するだけなので、極めて簡単です。

リスト1は、フォームに配置した各コントロール上でマウスポインタが停止すると、StatusBarコントロールにコントロール名を表示するサンプルです。そして、図2はその実行画面です。

なお、後述するShowPanelsプロパティを「True」に設定した場合、Textプロパティで設定した文字列の表示は行なわれなくなりますの

図1：さまざまなStatusBar



で、注意してください。

StatusBarコントロールのプロパティ

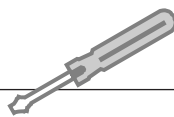


StatusBarコントロール自体には、これといって目立ったプロパティはありません。これは、このコントロールに必要な機能が、後述するStatusBarPanelオブジェクトに集約されているためです。強いてあげるとすれば、SizingGripプロパティでしょうか？

SizingGripプロパティは、StatusBarコントロールが貼られたフォームのサイズを、ユーザーが変更できるか否かを、StatusBarの右端に表示されるグリップによって視覚的に表示するためのものです。

フォームのFormBorderStyleプロパティが「FormBorderStyle.Dialog」などの、サイズを変更できない設定になっている場合には、フォームのサイズを変更できないことをユーザーにわかるようにする必要があります。このようなときに、SizingGripプロパティを「False」に設定し、サイズ変更グリップを表示しないようにすることができます（図3）。

パネルの追加



StatusBarコントロールには、複数の状況を表示するために表示を区切るパネルを追加することができます。

StatusBarコントロールへパネルを追加するには、Panelsプロパティ^[注1]のAddメソッドを使用します。Add

注1) StatusBarコントロール内のパネルのコレクションを表わすStatusBarPanelCollectionクラスを参照するプロパティです。

図2：メッセージの表示



図3：SizingGripプロパティとサイズ変更グリップ



リスト1：StatusBarコントロールへのメッセージの表示（サンプル Message）

```
Private Sub Control_MouseHover(ByVal sender As Object, _
    ByVal e As System.EventArgs) Handles Label1.MouseHover, _
    TextBox1.MouseHover, Button1.MouseHover
    Dim ctrl As Control
    ctrl = CType(sender, Control)

    StatusBar1.Text = "これは "& ctrl.Name & " です。"
End Sub
```

メソッドの引数には、パネルに表示する文字列、あるいはStatusBarPanelオブジェクトのインスタンスを作成してそれを指定します。

また、PanelsプロパティのAddRangeメソッドを使用すれば、複数のパネルを一度に作成することが可能です。AddRangeメソッドの引数には、StatusBarPanelオブジェクトの配列を指定します。

リスト2は、これらの方法でStatusBarコントロールにパネルを追加するサンプルで、図4はその実行画面です。

図4：パネルの追加

